

## エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第111期(決算日2020年3月23日) 第112期(決算日2020年4月20日) 第113期(決算日2020年5月20日)  
第114期(決算日2020年6月22日) 第115期(決算日2020年7月20日) 第116期(決算日2020年8月20日)

作成対象期間(2020年2月21日～2020年8月20日)

## 第116期末(2020年8月20日)

基準価額	1,561円
純資産総額	7,320百万円
第111期～第116期	
騰落率	△ 24.3%
分配金(税込み)合計	105円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース」は、2020年8月20日に第116期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

&lt;641480&gt;

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

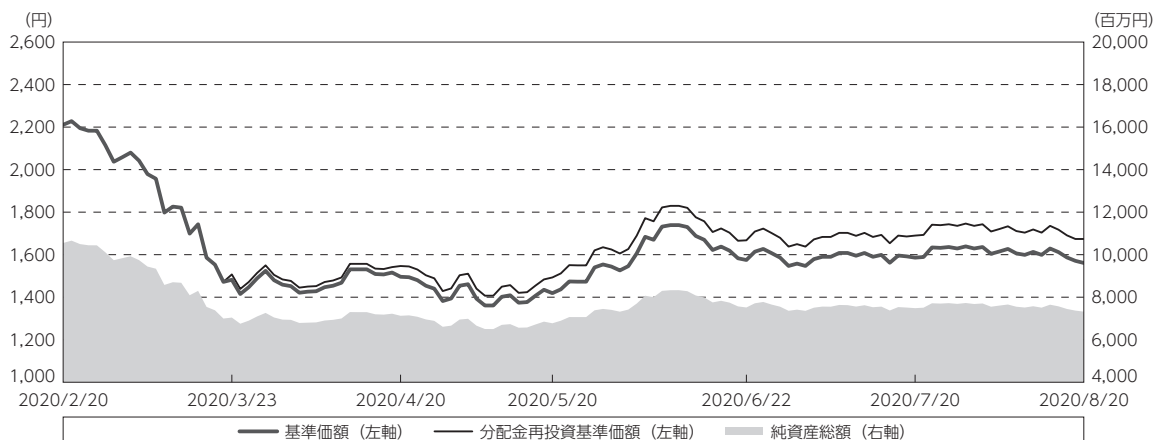
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2020年2月21日～2020年8月20日)



第111期首： 2,211円

第116期末： 1,561円 (既払分配金(税込み)：105円)

騰落率：△ 24.3% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2020年2月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・米国国債の利回りが低下したこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・ブラジルリアルが対円で下落したこと。
- ・新興国ハイ・イールド社債を中心に米国国債とのスプレッド(利回り格差)が拡大したこと。

## 1万口当たりの費用明細

(2020年2月21日～2020年8月20日)

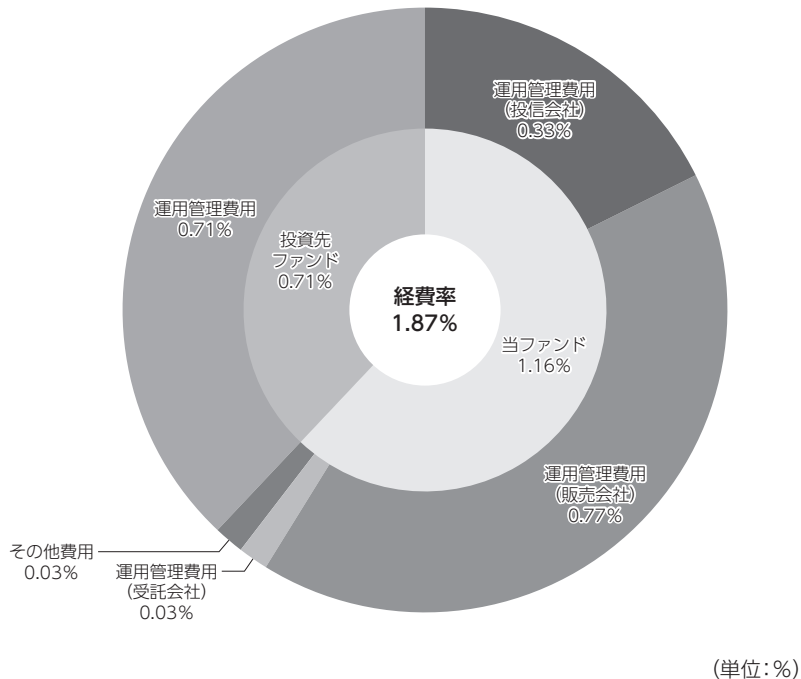
項 目	第111期～第116期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	9	0.563	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(3)	(0.164)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(6)	(0.383)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	(0)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	(0)	(0.012)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	9	0.577	
作成期間の平均基準価額は、1,626円です。			

- (注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.87%です。



経費率 (①+②)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.16
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

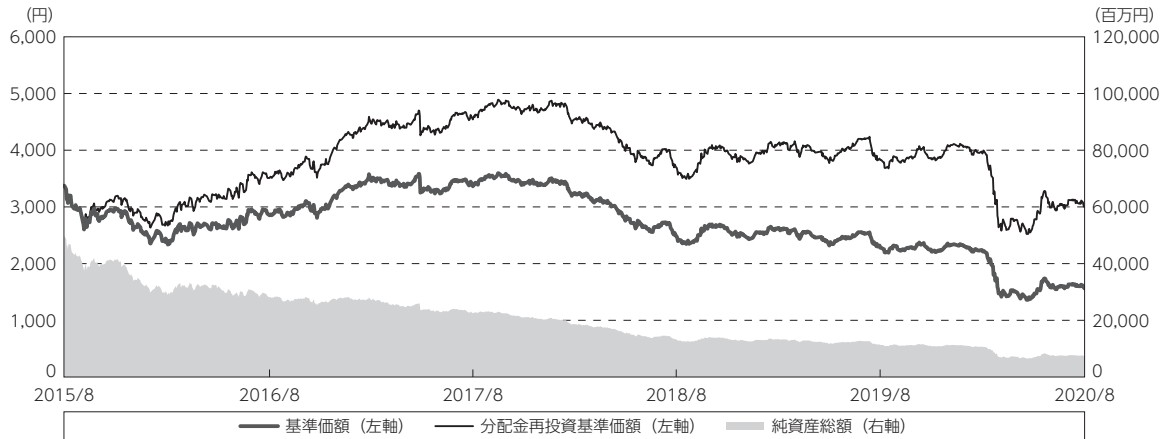
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年8月20日～2020年8月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日	2020年8月20日 決算日
基準価額 (円)	3,376	2,851	3,363	2,480	2,280	1,561
期間分配金合計(税込み) (円)	—	560	300	300	300	255
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.0	29.4	△ 18.7	3.6	△ 21.6
純資産総額 (百万円)	49,557	28,076	22,465	13,176	11,306	7,320

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

(2020年2月21日～2020年8月20日)

## (債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場のリターンはほぼフラットとなりました。

新型コロナウイルスの感染が中国から、欧米や新興国といった世界全体に拡大するなかで、新興国ハイ・イールド社債市場も大きく下落する状況となりました。しかしその後、米国連邦準備制度理事会(FRB)を中心に大幅な利下げと大規模な資産購入、中央政府による巨額の財政支出を伴った経済政策が発表されたことで、市場は急速に回復し始めました。経済活動が回復するなかで、新興国は新型コロナウイルスの感染拡大が収まる気配はまだ見られないものの、先進国の経済政策への安心感が市場の回復をもたらす動きとなりました。

## (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.04%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.13%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.10%近辺で期間末を迎えました。

## (為替市況)

期間中におけるブラジルリアル(対円)は、右記の推移となりました。



## 当ファンドのポートフォリオ

(2020年2月21日～2020年8月20日)

## (当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

## (EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

当ファンドは、金融セクターへの投資比率を減らす一方で、通信セクターの投資比率を高めました。国別では中国やメキシコの投資比率を高め、トルコやブラジルの投資比率を低くしました。

## (マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2020年2月21日～2020年8月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

## 分配金

(2020年2月21日～2020年8月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第111期	第112期	第113期	第114期	第115期	第116期
	2020年2月21日～ 2020年3月23日	2020年3月24日～ 2020年4月20日	2020年4月21日～ 2020年5月20日	2020年5月21日～ 2020年6月22日	2020年6月23日～ 2020年7月20日	2020年7月21日～ 2020年8月20日
当期分配金	25	25	25	10	10	10
(対基準価額比率)	1.659%	1.644%	1.731%	0.631%	0.627%	0.637%
当期の収益	9	11	10	10	10	9
当期の収益以外	15	13	14	—	—	0
翌期繰越分配対象額	3,562	3,548	3,533	3,534	3,535	3,535

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

## 今後の運用方針

### (当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

### (EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

リスク資産市場が反発している主因として、低水準からの成長回復や、多くの経済圏における前例のない規模での景気刺激策が挙げられると考えます。ただし、他の地域と比較して新型コロナウイルスの感染拡大の抑制策が当初奏功しているとみられていたアジアや欧州においても感染拡大が続いていることから、成長はやや勢いを失っているようにもみられ、新規発行が増加すること、米中の対立、米国大統領選挙を前にした不透明感など、市場参加者にやや慎重な姿勢を促すには十分な理由が存在するようにも思われます。

したがって、今後2020年末にかけては市場変動性が高まる局面もあるとみて、やや慎重な姿勢を取っています。ただし新興国社債市場において、デフォルト（債務不履行）率が年間見通しを下回る水準にとどまっているとともに、回収率も当初の想定を上回っている点は、年初来で見て未だ米国国債との利回り差が大幅に拡大した水準にあるハイ・イールド債にとって好材料であるとみており、より一層厳選した銘柄選択により、リターンを高めていく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

### (マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

2020年2月21日から2020年8月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

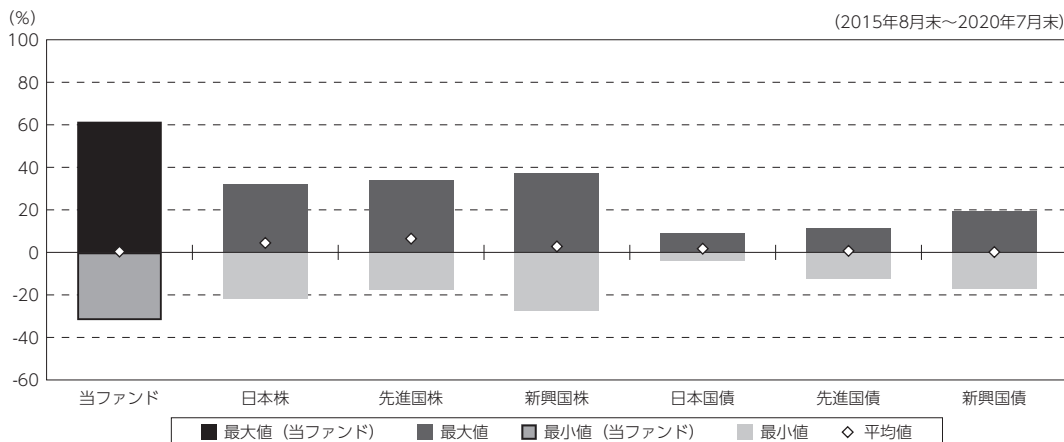
当ファンドについて、取得または解約の受付中止にかかる規定に関してスイッチング対象の証券投資信託を定めている約款付表から、満期償還となる「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース」および「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース」を削除すべく、2020年8月19日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2025年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト J P Y ・ B R L クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.5	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 31.9	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.4	4.4	6.5	2.8	1.7	0.7	0.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年8月から2020年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマーシング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマーシング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

(2020年8月20日現在)

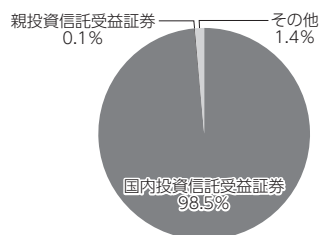
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第116期末
	%
EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス	98.5
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

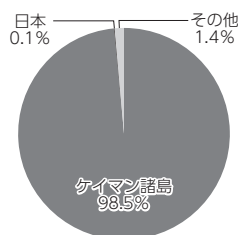
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

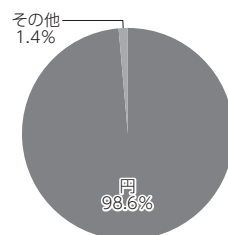
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

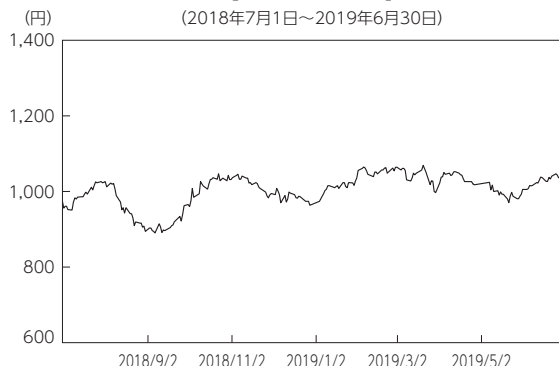
項目	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末	第115期末	第116期末
	2020年3月23日	2020年4月20日	2020年5月20日	2020年6月22日	2020年7月20日	2020年8月20日
純資産総額	7,041,802,644円	7,125,895,510円	6,773,868,045円	7,516,546,174円	7,484,660,773円	7,320,856,177円
受益権総口数	47,506,245,264口	47,634,353,910口	47,743,033,573口	47,732,616,464口	47,183,707,928口	46,902,296,332口
1万口当たり基準価額	1,482円	1,496円	1,419円	1,575円	1,586円	1,561円

(注) 当作成期間(第111期～第116期)中における追加設定元本額は1,430,917,072円、同解約元本額は2,237,752,746円です。

## 組入上位ファンドの概要

### EMサブ I Gハイインカム・コーポンド・サブトラスト JPY・BRLクラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2018年7月1日～2019年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2019年6月30日現在)

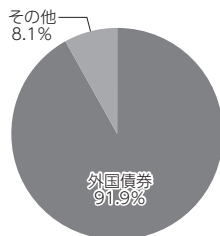
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	Argentine Republic Government International Bond, S/U 3.75%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	4.0%
2	Petrobras Global Finance BV 6.90%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.3%
3	Petrobras Global Finance BV 6.85%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.2%
4	Pampa Energia SA 7.38%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	1.5%
5	Samarco Mineracao SA 4.13%	外国債券	アメリカドル	ブラジル	1.5%
6	Argentine Republic Government International Bond 8.28%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	1.5%
7	Teva Pharmaceutical Finance Netherlands III BV 3.15%	外国債券	アメリカドル	オランダ	1.4%
8	Gran Tierra Energy Inc 7.75%	外国債券	アメリカドル	米国	1.4%
9	Al Candelaria Spain SLU 7.50%	外国債券	アメリカドル	スペイン	1.4%
10	Vedanta Resources Finance II Plc 9.25%	外国債券	アメリカドル	英国	1.4%
組入銘柄数			133銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

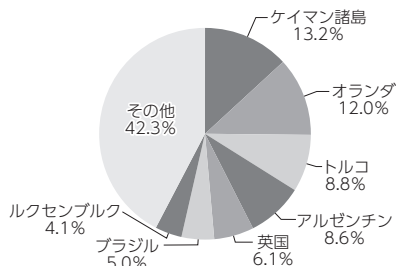
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

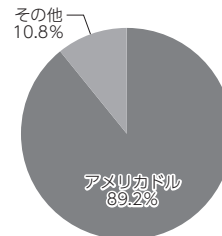
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



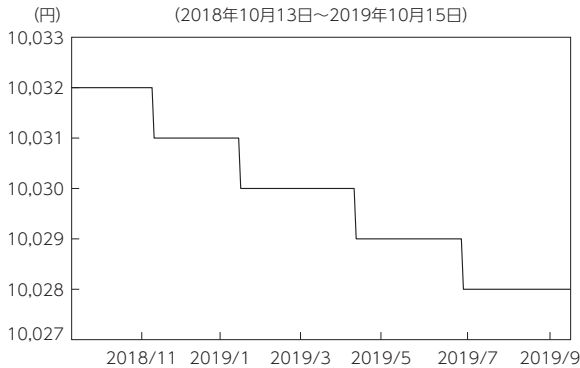
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年10月13日～2019年10月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年10月13日～2019年10月15日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	1 (1)	0.005 (0.005)
合 計	1	0.005

期中の平均基準価額は、10,029円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2019年10月15日現在)

2019年10月15日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。